

名前の由来

モリヤマシティバレエはその名の通り、滋賀県守山市という土地名から名付けられている。日本では講師の名前が教室名になることが多いが、海外では教室をかまえたその土地の名前がバレエ団の名前になる。指導者が変わっても、この教室が後世に引き継ぐことができるように、生徒にとって将来活躍の場になればという想いが込められている。



ロゴの由来

ロゴの象徴であるダンサーは、モリヤマシティバレエ創業者・やすなみずほの舞台写真から切り取ったもの。最も多く舞台上で踊った演目「ドン・キホーテ」の主役「キトリ」を演じる一場面。キトリは、自分の意思を貫く強くしなやかな人間性。そんな彼女のように前向きに生き、困難も高く飛び越え、守山市から飛躍する人材が育つことへの願いを表現している。

1

VISION

目指すべき姿

バレエを通して心と身体に
「しなやかさ」を築く

2

MISSION

存在意義

「できた」「できる」「ありがとう」の体験を通して

- ①揺るぎない自信とブレない軸を身に付ける
- ②相手に感動と喜びを贈る人になる

3

VALUE

守るべき価値観

何事も『感動分岐点』で行動する
合言葉は「あなたが感動、わたしも感動！」

- ①身近なことを感動レベルでできるようにしよう
K.O.A(コア)を合言葉に、誰でもできることを相手の感動と満足になるレベルまで目指し、実践する
[K: 挫けない][O: 折れない(負けない)][A: 諦めない]
- ②わたしだけの輝きを見つけよう(個を磨く)
踊りから「らしさ」「生き様」が見える教育をすることで、その子にしかない輝きを引き出す。オンリーワンの人財を育み、地域・社会・業界で求められる「しなやかな人」になる
- ③バレエで「ありがとう」を多くの人に伝えよう
周囲への感謝を常に忘れず、バレエで相手に感動と幸せと喜び贈る行動をしよう

モリヤマシティバレエの「しなやかさ」とは何か？

どんな場面においても「つよく」「かしこく」「美しく」品格を持って切りひらいていける力

5つの要素

- ・ビリーフ：揺るぎない自信とブレない強さ
- ・コミュニケーション：他者を応援し、応援される
- ・人間力：周囲から愛される、憧れられる
- ・存在感：内側から「らしさ」がにじみ出る
- ・決断力：自分自身で人生を決める、つかみ取る

しなやかな生き方 = 人生の財産

いつの時代も生き抜ける「しなやかな人」になる

バレエから離れても絶えることのない「生涯無敵感」を培う

「しなやかさ」を築くための具体的な実践

指導が「しなやか」

生徒と指導者が共に成長できる仕組みとして、バレエノートによる生徒との一対一の対話を実践

働き方が「しなやか」

指導者の夢やライフサイクルを可能な限り尊重しながら自己成長できる環境を提供

サービスが「しなやか」

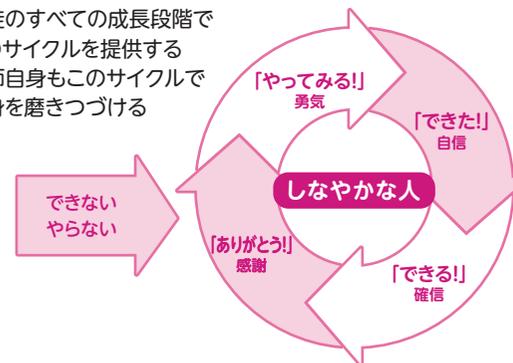
業界の慣例にとらわれず、時代に合わせた対応で生徒と保護者をサポート

生徒や保護者にとって「しなやか」

生徒の気持ちを尊重し、可能性を見極めながら、保護者と講師が夢を支える一番のファンとなる

しなやかな人を育てる感動と成長サイクル

生徒のすべての成長段階でこのサイクルを提供する
講師自身もこのサイクルで心身を磨きつづける



モリヤマシティバレエが目指す「滋賀発・バレエドリームプラン」

バレエは人間力を形成する「教育」としての価値を上げ、指導者を育成・雇用するサイクルを生む。

- ①「バレエは敷居が高い」その概念を払拭する新たなイメージの認知と拡大
- ②海外検定を土台に指導者を育て、次世代に引き継げる教育体制を築く
- ③企業に勤めながらもバレエ指導者やプレーヤーが叶う仕組みを創る
- ④新しいバレエエンターテインメントを創出し、舞台に触れる機会を提供する
- ⑤滋賀だからこそ売れる。アートと地域を繋ぐビジネスモデルを構築する